

令和7年度 学校評価についての報告						
<p>本校の教育目標 「自ら気づき考え、共に社会性を高め、未来を創造し自己実現できる生徒の育成」 の達成のために邁進してきました。 学校運営協議会委員のみならず、本年度の学校評価(本校教員による評価)を掲載しております。 今後とも、本校の教育活動にご理解、ご協力、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。</p>						
1	<p>学校運営協議会委員による学校関係者評価</p> <p>集計結果(評価は4段階評価) (1) 学校運営について(評価: 3.8⇒3.9) ○ 全教員活動について一つ一つ丁寧かつ熱心に取り組んでいってくださることが伝わってきました。 情報を共有しながら取り組んでいることが、不登校数の出現数や生徒数、その他の問題行動の現象につながっていると感じます。 ○ 生徒の悩みを聞き取り、適切な支援が提供されていると感じました。 ○ 目標に対しての取組が明確であり、全職員が同じものを目指して取り組んでいることがわかります。</p> <p>(2) 校務運営組織(人財育成)について(評価: 3.4⇒3.7) ○ 教員自身が自らの授業を振り返り改善に向けて行動できるよう仕組みづくりが、とても有効だと感じました。 ○ さまざまな研修を通して、キャリアアップに資する人財育成に計画的に取り組まれていると感じました。 ○ 教員の若年層が進む中で、教科部会や各種研修が充実しており、取組の雰囲気づくりにつながるので、今後も継続して取り組んでください。</p> <p>(3) 学力向上に関する取組について(評価: 3.9⇒4.0) ○ 教員と生徒が学習の目的や方略を共有することはとても有効だと思いました。 ○ それを徹底できたことがこれまでの成果と本日の子供の姿につながっているのだと感じました。 ○ 3年間、学力向上推進拠点校事業の取組を進めて来られ、生徒が主体となり取り組む学習のシステムを作り上げていることは、とても素晴らしい。これを精査しながらぜひ、継続してもらいたい。 ○ 3年間で進捗が確認でき、継続を促すことができると感じました。 ○ 生徒が個別に個別に調べる方法や解決方法を選択できる学習方法はとてもいいと思いました。 自学ノートの継続や、授業での振り返り生徒の学力向上に生かされていると感じました。</p> <p>(4) 不登校解消に向けた取組について(評価: 3.8⇒4.0) ○ 全欠の生徒が、不登校生徒の出現率が減少しているのは素晴らしいと思います。 ○ 様々な取組を通じて、不登校ならびに欠席生徒数が減少していると感じています。とても評価できる。 ○ 理由が多様化している中、大変だと感じます。無理のないように対応することが、数として減少していることが素晴らしいと思います。 ○ 中学校でも中学校として、児童の親のつながりや自治的な活動の充実が大切だと感じています。また、SNSラブルについては小学校でも深刻な問題となっているので、中学校や町のPTAと連携しながらルールづくりを進めることができると感じています。</p> <p>(5) 学校評価について(評価: 3.8⇒3.9) ○ 3年生の教室を通った際、生徒が自分から挨拶をしてくれました。あいさつ評価は低くなっていますが、とても素晴らしい姿だと思いました。 ○ 多項目で肯定的意見が100というは、素晴らしいと思います。先生方がしっかりと意識されているのだと感じました。 ○ 教師の評価は厳しくしていますが、子どもたちの肯定的な評価が見られるため、引き続き学校の教育活動に繋げていってほしい。</p> <p>(6) その他 ○ と落ち着いた雰囲気での授業が行われていました。生徒が自ら進んで挨拶をしてくれたことにも嬉しく感じました。 ○ 素敵な中学生だと思いました。 ○ PTA会長が仰っていましたが、教師が「キキキ」と授業をしていることが保護者に伝わっている、ということが羨ましく感じました。 ○ 学力が伸びたことが確認されています。 ○ 自学年が多かったようですが、どの学校も落ち着いていました。ひまわり学校の生徒が楽しそうに英語の学習をしていたのがよかったです。 ○ 英語で授業している姿が見られて良かったです。3年生は受験前緊張した学校生活を送っていたのがよかったです。 ○ 体育の授業でバドミントンをしている姿は、楽しそうでした。 ○ 生徒は落ち着いていて、全体の雰囲気も落ち着いてきているように感じました。 ○ 掃除の態度も向上しているように感じました。生徒の自主的な活動の充実が大切だと感じています。 ○ 子どもだと思っていたけど、しっかりと大人へと成長しつつあるのを感じました。 ○ 生徒さんの落ち着いた姿、先生方のきめ細やかな指導の足跡が随所から見て取れました。 学力も、生徒指導面も上昇傾向にあることに納得しました。</p>					
2	<p>R7年度 学校評価(教師アンケート)結果</p> <p>教育活動・内容</p>	1.1学期(7月)平均値	1.2学期(12月)平均値	評価	成果(○) 課題(●)	
<p>確かな学力を育成する授業の質の向上</p>	1 生徒は、意欲的に授業に参加している	3.0	3.1	3.0	B	<p>○「意欲的な参加」「自己の成長」に関して、教育活動での振り返りを意図的・計画的に取り組んだ結果、「何ができたか」を言語化するプロセスの定着が少しずつ現れてきている。 ●教員の共通認識と実践を意識し取り組み、教師の率先垂範、生徒会活動 ○学力向上事業の3年自として、授業改善に取り組んできたことが教員の授業力向上につながり、意識を高めることができた。 ○今年度の研究の重点を、振り返りにしたことで、生徒自らが学びを自覚する機会が増えた。 ○ICTを振り返りに活用したこと、で、他者の意見をリアルタイムで参照したり、自身の成長を蓄積(ポータルフォロ)したりすることが容易になった。 ●生徒が主体的に学ぶための、学びを「支える」教師の手だてを継続発展させるための研修をさらに進める必要がある。 ●振り返りと同様、「めあて」や「まとめ」を生徒の言葉を使ってアウトプットさせることで、さらに生徒に「内容理解や解決の達成」を毎週、特別支援教育推進委員会や生徒支援委員会を通して、特別な配慮を要する生徒の情報交換や不登校生徒の対応、気になる生徒の情報共有や指導方針の浸透・徹底を行うことができた。 ○学年間、管理職への報告・連絡・相談の徹底を図ることで、組織的な対応や外部関係機関への協力依頼がスムーズに行えた。 ○生徒理解や特別支援・配慮を要する生徒に関する職員研修を、さらに充実させ、具体的な指導力の底上げなど職員指導力を向上させる必要がある。 ●目標の声かけを意識し、生徒が話かけやすい、いつでもSOSを出せる環境を作る。</p>
	2 生徒は、相手(先生、仲間など)を意識して、自分から「あいさつ」している	2.8	2.6			
	3 生徒は、学習の意欲を高めることができる	3.2	3.2			
	4 生徒は授業中に、自分の考えを説明することができる	3.0	3.0			
	5 生徒は私語をせず友達や先生の説明を聴くことができる	3.0	2.9			
	6 生徒は学校生活を落ち着いて過ごすことができる	2.9	2.9			
	7 生徒は清掃活動にきちんと取り組むことができる	2.9	3.0			
	8 生徒は学校生活を、「自分自身で成長した」と感じていることができる	3.0	3.1			
	9 生徒は課題を喚起し、前時の学習内容の振り返りや既習経験・既知知識とのズレ、モデルの提示や矛盾したデータ等を提示するなどの工夫がなされている	2.9	3.1			
	10 課題解決に向けて、「何を明らかにするかの」「何を【内容】どのように【方法】どうするか」の見通しが立てられている	3.0	3.0			
	11 「考えるためのヒント」カードの提示がされている	2.8	2.8			
	12 生徒が課題に粘り強く取り組み、自己調整しながら自力解決するために、個に応じた資料や教員の準備などの工夫がなされている	3.1	3.2			
	13 自らの考えを明確にするために、より自分の考えを修正したりするなど考えを広げるための対話活動の設定がされている	3.0	3.3			
	14 『めあて』の【内容】に対応した『まとめ』を、生徒の言葉等で記述し、課題解決の達成感を意識している	2.8	2.8			
	15 学習を振り返る場面で、分かったこと(できたこと)だけでなく、分らなかったこと(できなかったこと)、はっきりしなかったこと、難しかった等、自分の言葉等で記述している	3.0	3.4			
	16 学習した内容を使って、問題を解決する活動や日常生活に当てはめて考える	2.9	2.8			
	17 課題解決や内容理解のために、グループワークや電子黒板等を使って必要な	3.2	3.2			
	18 学習過程を振り返るための課題や、自分の考えの軌跡が分かる、自分が書き出した内容に追加修正したりするなど、指導がなされている	2.8	2.9			
	19 指導と評価の連携が、学習評価の工夫がなされており、課題が見られる児童生徒への支援の見通しが立てられている	3.0	3.0			
	20 指導と評価の連携が、学習評価の工夫がなされており、課題が見られる児童生徒への支援の見通しが立てられている	3.0	3.0			
	21 「習得」「活用」を明確にした単元計画を作成している	3.0	3.2			
<p>共感的な人間関係のある集団づくり</p>	22 問題行動の未然防止・早期発見・早期解決に積極的に取り組んでいる	3.3	3.3	3.2	A	<p>○校長による不祥事防止研修の意図的・計画的な実施により、教員間の不祥事防止や教育公務員としての意識がさらに高まった。 ●教育公務員としての姿勢に関わる項目での、意図的・計画的な研修や職員間による日々の声かけを通して、全項目「4」をめざす。 ●不祥事防止の研修を、人財育成の場と捉え、テーマを決め、5分くらいのプレゼンを企画させる。</p>
	23 生活アンケートやwebQの分析結果をもとに、適切に学級指導や個別指導を行っている	3.1	3.1			
	24 学年会で、生徒の共通理解を図り、集団づくりに取り組んでいる	3.2	3.4			
	25 様々な場面で、生徒の人権意識を高める努力をしている	3.2	3.3			
	26 新規に不登校生徒をつくらないために、特別支援教育推進委員会の情報を基に、未然防止に取り組んでいる	3.2	3.3			
	27 発達に課題のある生徒へは、細やかな対応を心がけている	3.2	3.2			
	28 問題事案が発生した時は、生徒指導報告書ツールとして報告・連絡・相談を行っている	3.3	3.1			
	29 個別支援を行うために、SC(またはSSW)、くすのき教室等と連携を図ることができている	3.2	3.1			
	30 SNSの使い方については、粘り強く繰り返し指導を継続している	3.2	3.1			
	31 道徳科・特別活動は、指導計画に基づき、生徒の実態に合わせて行っている	3.1	3.1			
	32 相手意識をもった挨拶が教師が手本として行い、生徒にも指導している	3.4	3.2			
<p>教育環境の健康安全</p>	33 ユニバーサルデザインの視点で教室や廊下の環境を整えようとしている	3.4	3.2	3.2	A	<p>○生徒会による学習の集食など生徒の自治的活動が、学校生活の向上を図る活動が行なわれたことが効果があった。 ○教室の環境や掲示物に関して4月と8月に繰り返し周知することによって浸透している。 ●清掃活動に関しては、生徒の自治的な活動と同時に教師からの指導も必要になることから、教師の率先垂範の共通認識を持たせる。</p>
	34 教室や学年棟の掲示物は、生徒の学習の足跡が見えるような環境づくりを行っている	3.3	3.3			
	35 生徒会活動において、自治的な活動が推進されるよう、適切な指導・助言を行っている	3.2	3.1			
	36 清掃の時間は、生徒に静かに時間いっぱい隅々まで掃除をさせることができている	2.9	2.9			
	37 意図的・計画的に健康安全教育に係る指導を行っている	2.9	3.0			
	38 毎月、担当箇所の安全点検を確実にしている	3.3	3.2			
	39 部活動については宇美東中学校部活動方針に則って、適切に運営している	3.4	3.3			
	40 部活動における事故や怪我、熱中症に対し細心の注意を払った指導を行っている	3.5	3.4			
<p>教育公務員としての姿勢</p>	41 教育公務員としての職業や義務(法令遵守や秘密の保持)を自覚して業務に取り組んでいる	3.8	3.8	3.6	A	<p>○校長による不祥事防止研修の意図的・計画的な実施により、教員間の不祥事防止や教育公務員としての意識がさらに高まった。 ●教育公務員としての姿勢に関わる項目での、意図的・計画的な研修や職員間による日々の声かけを通して、全項目「4」をめざす。 ●不祥事防止の研修を、人財育成の場と捉え、テーマを決め、5分くらいのプレゼンを企画させる。</p>
	42 不祥事は絶対に起こさないという強い決意のもと、自律的に業務に取り組んでいる	3.7	3.9			
	43 教育公務員として相応しい服装や態度、言葉遣いで業務に取り組んでいる	3.7	3.5			
	44 組織の一員として上司の指示を理解するとともに、同僚との意思疎通を図り、連携・協力している	3.5	3.6			
	45 管理職や主幹教諭、主任主事への報告・連絡・相談を適切に行っている	3.6	3.6			
	46 運営委員会などの各種委員会や職員会議、学年会の審議内容を十分に把握している	3.4	3.4			
	47 自分自身のSNSの使い方には特に注意を払っている	3.7	3.8			
	48 生徒に対する身体接触や言葉使いには細心の注意を払っている	3.6	3.7			
	49 保護者と生徒と私的なSNSや電話連絡をしていない	3.7	3.8			
<p>校務の整理</p>	50 年間行事・月行事・週行事を通して見通しをもち、教育活動に取り組んでいる	3.3	3.3	3.4	A	<p>○校務分掌の整理や仕事内容の確認と周知などすることで、役割を意識して取り組むことができている。 ○学級・学年通信や校外への文章に関しては、教員の意識の上昇が見られ、チェック機能が有効に働いている。 ●学年会や各種委員会等を通して、主任・主事を中心とした組織的な教育活動を行うことができた。 ●身の回りの整理整頓を退勤時に行うなど心がけ、落ち着いた職員室の雰囲気作りを行なった。 ●職員室の雰囲気作りを行なうために、教員の働き方改革を意識させるために、データ保存、行事の精選し、業務の効率化と能率化をめざす。</p>
	51 担当分掌における自己の役割を十分に理解し、責任をもって適切な処理を行っている	3.3	3.3			
	52 机上の整理、教材・教員の整理・保管ができています	3.1	3.0			
	53 書類などの提出物は、期限を守っている	3.2	3.1			
	54 会議の開始時間を守るなど協働する意識をもち、法令順守の職員室の風土をつくるようになっている	3.3	3.6			
	55 出勤簿、動態システム、アルコールチェックなど、毎日適切に処理している	3.5	3.5			
	56 回覧レポートやWEBメールを毎日確認している	3.3	3.4			
	57 学年通信・学級通信など校外への文書は、必ず教頭、主幹教諭の点検を受けている	3.8	3.4			
	58 学校の様子を、学級通信や学年通信で公開したり、ホームページで地域や保護者に積極的に公開している	3.3	3.2			
	59 保護者に対して、評価・評定の説明責任を十分に果たすことができる	3.4	3.5			
	60 保護者や地域からの電話対応について、誠意をもって対応し、内容によっては管理職に報告するなど適切に対応している	3.7	3.6			
	61 問題事案や生徒のケガ等については、確実に保護者へ連絡している	3.8	3.7			
	62 キャリアアップ講座、教科等研、自主サークル研などに積極的に参加している	3.3	3.1			
	63 働き方改革を意識し、業務の効率化・能率化を図っている	3.0	3.2			